

主催：大和地区日中友好協会

支援：大和市生涯学習センター

令和8年度 まなびの輪支援事業

談話会「共に語ろう、日本と中国」(全5回)

昨年は、一般市民の皆様が多数ご出席下さり、たいへん好評でした。今年も発表テーマを新たに設定し開催します。共に日中の歴史や文化を学びつつ中国への理解を深め、良好な日中関係に思いを馳せる機会に致しましょう。気楽に感想や意見を述べ合える雰囲気です。ふるってご参加ください。



来てね！



《開催予定日・テーマ》

第1回 6月14日 テーマ「中国語と日本語」 発表者 本会常任理事 王俊秀

第2回 7月12日 テーマ「大和市名誉市民宇都宮徳馬先生の政治思想」

発表者 本会常任理事 堀合研二郎

第3回 9月20日 「湘南日中友好協会の日中友好活動」

発表者 湘南日中友好協会理事長 上野篤志氏

第4回 10月11日 「中国茶を楽しむ」 発表及び飲茶指導 本会会員 孔曉明、他

※この回のみ調理実習室を使用します。そのため、先着30名。お茶葉代及びお菓子代300円をご用意ください。

第5回 12月6日 「米中が覇権を争う中で、日中関係の在り方を考える」(仮題)

発表者 本会参与・復旦大学 吉田 浩二

会場…シリウス6階生涯学習センター610 大会議室 (定員は50名)

いずれも、午後1時45分～3時15分(入室は1時30分) 参加費無料

申込方法…メールか電話で下記宛お申し込みください。

石井 ☎ 080-5026-0177

米 駐車場(有料)の数に限りがあります。できるだけ公共交通機関でのご来場をお願い致します。

発表者からひとこと

第1回 王俊秀

今現在、世界で使われている言語の中で、漢字を使用しているのは日本語と中国語だけです。（韓国や北朝鮮はハングルで、最近は漢字をほとんど併用しなくなっています。）そして、日本語と中国語の共通点は、その約7割の語彙の意味が同じだということです。

これに関連して注目したいのは、日本人と中国人は共同で今の日本語そして中国語を作ってきたと言えることです。ではどうしてこうなったのか、日本語と中国語の形成過程について述べたいと思っています。

第2回 堀合研二郎

国民の平穏無事な暮らしを下からそっと支えるのが政治の担うべき役割だと私は常々考えております。そんな役割をしっかりと果たすために、同じ志を持った過去の偉大な政治家から学ぶべきことは非常に多く、また有意義なことであると考えます。

大和市に居を構え、我が国と諸外国、特に中国を代表とする東アジア地域での平和維持に多大な尽力をされ、さらには軍縮にまで踏み込んで政治・言論活動を展開された、故宇都宮徳馬先生の政治思想をこの機会にしっかりと学び、その成果をお話しさせていただきます。

第3回 上野 篤志

湘南日中友好協会は1975年1月に結成され、昨年50周年を迎えたところです。県内の協会の中では西湘、横浜に次ぐ組織ですが日中友好運動の歴史は古く、1954年に藤沢市民が中心となって聶耳記念碑を建設し、この記念碑の除幕式に李徳全や廖承志が新生中国の代表として初めて訪日し参列したことが大きな契機となっています。このような戦後の日中友好運動の歴史と、現在に至る湘南日中友好協会の活動についてお話しさせていただければと思います。

第4回 孔 曉明

①簡単に中国茶の説明（中国茶とは、中国大陸や台湾で生産されるお茶の総称です。）②お茶の淹れ方や味わい方（お湯の温度、基本的には発酵してない茶葉は低温、発酵が進んでいる茶葉は高温で）③中国茶健康効果（緑茶にも含まれてカテキンが紅茶にも含まれています）④家庭での習慣（歓迎のシンボル：訪問客には温かいお茶を出すのがもてなしの基本）についてお話ししたいと思います。そして、中国茶とお菓子をご一緒に味わいましょう。

第5回 吉田 浩二

今年は日中関係にとって大事な年になるでしょう。そのポイントは3つあります。一つ目は本格的に動き出す高市内閣が対中でいかなる動きをするか。二つ目は4月に行われるとされる米中会談で両国が親密になるか疎遠になるのか。三つ目は悪化している中国経済は回復に向かうのか。

日本としては1972年の共同声明の精神を持続しています。一方、日中の経済関係に関しては引越しのできない隣人として益々深く繋がって行かねばなりません。現在政治的には関係は宜しくないですが、過去でもそうであったように民の力で官を動かすことが肝要でしょう。

このような視点から、今後の日中関係を展望したいと思っています。